

森づくりサポーターニュース

平成24年(2012)4月1日発行

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0101 守山市今浜町3089 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス moridukuri@ex.biwa.ne.jp URL <http://www.ex.biwa.ne.jp/moridukuri/>

春のサポーター活動

平成23年度最後のサポーター活動が、3月3日(土)に行われました。

前日の雨模様とは違って変わって比良の山並みがくっきりと見える好天気恵まれ、サポーター 55名とガールスカウト65名(内大人5名)の計120名という多くの参加がありました。

サポーターの皆さんは、2003年～2004年に苗木が植えられた「ふれあいゾーン」で、除草や間伐の作業をしました。この区域は、植樹後8年程経過し、木々の生長に伴い、枝と枝が絡まるなど混み合った様相を呈していましたが、間伐後は、林の中がスッキリし、残った木々がのびのびとして更に大きく育ってくれる状況になりました。

今回の活動では、間伐した木を「しいたけのほだ木」として利用できるように玉切りするなどノコギリを使う作業が多く、普段ノコギリを使う機会の少ないサポーターの皆さんには、木を切る楽しさや難しさも体験していただきました。

また、林の中で「クリオオアブラムシ」の越冬している状況や天然の「キクラゲ」が見つかるなどこの時期の森ならではの観察もできました。

一方、ガールスカウトの皆さんには、中村先生から「森のキノコのはなし」(自然教室)をしていただき、その後、ヤマザクラの小枝で「箸づくり」をしたり、シイタケの菌打ちをするなど普段経験することのない体験をしてもらいました。

最後に、森で採れたシイタケをふんだんに使った具だくさんの「森ナベ」をいただきました。



天然「キクラゲ」

植栽苗木の生育状況について

②

前回は植栽苗木生育調査の全体状況をお知らせしました。今回は、その中で一番樹高生長が良かった「出会いのゾーンーA地区」の生育調査結果についてお知らせします。

□出会いのゾーンーA地区の生育状況

出会いのゾーンは、びわこ地球市民の森の一番上流部にあり、大きな円形芝生広場がある国道477号に接した植栽地です。その中で出会いのゾーンーA地区は、中央部の市道側にあり、「2008年のつどい」の植樹地一帯です。

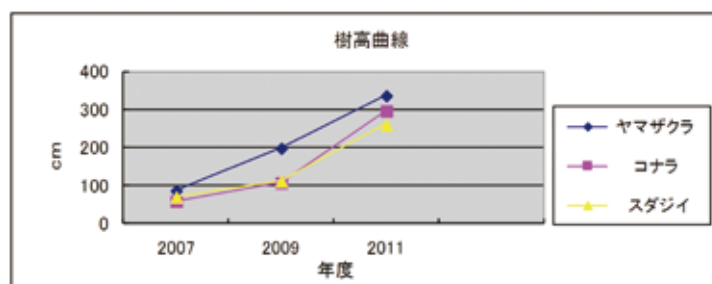
当地区に植栽されている主な樹木としてヤマザクラ、コナラ、スダジイを選択してその生育状況をご紹介します。・・・調査地点は、2006年11月に苗木を植えてもらって4年半ほど経過した所です。

○出会いのゾーンーA地区（2006年秋植栽地）

落葉・常緑広葉樹（cm）				
調査年度	ヤマザクラ	コナラ	スダジイ	平均
2009	199	108	113	140
2011	337	297	261	298
樹高生長	138	189	148	158

これらの樹高を調査年度で比較しますと上記のとおりでした。（調査日は、2009年度は5月1日、2011年度は6月11日でした。）

前号の全体状況と比較しますと、この地区は群を抜いて樹高生長していることが理解されます。この地区の主な樹木の樹高推移については、下の図のとおりとなっています。



ヤマザクラ、コナラは、植栽時に比べて約6倍の高さに生長し、特にコナラは2年半を経過して他の樹種に比べて伸びが良くなり、この2年間で2m近く背が伸びていました。



2012年1月25日の状況

今回は、「紫陽花（アジサイ）」のお話です。

【紫陽花】

アジサイは、アジサイ属を代表する高さ1～2mの低木です。日本固有の種であるガクアジサイ（サワアジサイ）やヤマアジサイから改良されたもので、広く庭園などに植栽されています。

日本固有の種も多いアジサイ属は、エングラー等による近年までの植物分類学ではバラ目のユキノシタ科のアジサイ亜科に属するとされていましたが、最近主流になっているAPG分類では、ミズキ目の独立したアジサイ科のアジサイ属に位置づけられています。

そのアジサイは、万葉集に“あぢさゐ”（万葉仮名で「安知佐為」「味狭藍」）として見えるほど古くから知られており、鎌倉時代以降は園芸種としても栽培されるようになっていました。でも、これらはヤマアジサイないしガクアジサイを基としたベニガク、七段花、アマチャなど素朴なものが主で、現在みられる手鞠花風の豪華な花々でなかったようで、これを特別に鑑賞する名所といったものも江戸時代を通じても現れませんでした。現在の鎌倉市の紫陽花寺（明月院）などでアジサイが観光の対象となったのも第二次世界大戦後のことです。

このアジサイの名前は、「あづさい」が変化したとの説が有力で、「あづ」は「あつ」（集）、「さい」は「さあい」（真藍）で青い花が集まって咲くさまを表しているようです。

そのアジサイの学名は、*Hydrangea macrophylla*ですが、*Hydrangea*（ヒドランジア）は、ギリシャ語の「hydro（ハイドロ：水）とangeion（容器）」からなる語で、その果実の形に由来しており、水分をよく吸いこれを蒸発させる性格から名付けられたようです。なるほど日本でも日当たりの悪い裏庭や古寺に植えられることが多かったようです。

なお、図鑑によっては、学名に*Hydrangea otaksa* Sieb.et Zucc.と追記しているものもありますが、これは江戸時代の1800年代前半に長崎にオランダ商館医として赴任していたシーボルトが好きだった植物の一つがアジサイであったこと、シーボルトが日本で妻帯した楠本滝という女性がいて、アジサイを新種として登録しようとしたとき、「おたきさん」を学名に入れ込んで報告したとか言われています。

真偽のほどはわかりませんが、学問と恋路を一緒くたにし、科学者としての立場を逸脱していたようで、結局*Hydrangea otaksa*はのちにシノニム（先に名付けられた種と同義種）と判明して、その学名は有効ではなくなりました。

ちなみに、長崎市ではアジサイはシーボルトの命名にちなんだ「オタキサン花」と呼ばれて「市の花」ともなっています。

次回も、引き続き「紫陽花」のお話をします。



ガクアジサイ

森づくりトピックス

“びわこ地球市民の森のつどい2012”のご案内

今年も4月14日（土）に森の一大イベント“びわこ地球市民の森のつどい2012”が「里の森ゾーン」で開催されます。

12回目のつどいとなる今回は、～絆と友情 未来の芽～をコンセプトに、3,000本の一斉植樹のほかキャラクターなどとふれあえる“体験ブース”や人気の“食のブース”がオープンするほか“お楽しみブース”では、森の音楽会や移動動物園などが楽しめます。

昨年は、1,900人ももの参加者（写真）がいましたが、今年もたくさんのご参加をお待ちしています。



お知らせ

平成24年度（2012）森づくりサポーター活動の計画

平成24年度のサポーター活動日は、つぎのとおりです。

- ・平成24年4月14日（土） 植樹（びわこ地球市民の森のつどい2012）
- ・平成24年7月21日（土） 植樹地のつる切り、間伐、枝落とし
- ・平成24年10月予定 植樹地の間伐、枝落とし、ドングリの植えつけ
- ・平成25年3月予定 植樹地の間伐、枝落とし、シイタケ菌打ち

2012年3月末現在

植栽面積	71,138㎡
参加者数	39,335人
植栽本数	141,671本
つどいのゾーン	23,609本
ふれあいゾーン	37,459本
出合いのゾーン	21,158本
里の森ゾーン	59,445本

編集後記

びわこ地球市民の森は、2001年4月にオープンしてから12年目を迎えます。当初に植栽された苗木は、大きいもので10m近くに達し、多くのボランティアさんの手で植樹や手入れが進み、だんだん森らしくなってきました。

さて、森づくりセンターでは2年間勤務された石田勉職員が退職され、4月から、湊紀夫職員に交代します。今後ともよろしくお願いいたします。